

研究棟開放ギャラリーに

宇都宮・板金加工業の渡辺さん

スタンドグラス風スタンド

「宇都宮 精密板金加工「ツカサ精密」(芦沼町 渡辺洋司社長)は12日から、研究棟をスタンドグラス風スタンドなどのギャラリーとして開放する。社会貢献活動の一環で、渡辺社長(57)は「人とのきずなが生まれ、明るく楽しい時を過ごせる雰囲気づくりに努めたい」と話している。(菊地哲也)

あすから作品展示

約40点の展示品は、メーカで機械設計に携わった児玉健司さん(70) Ⅱさくら市草川Ⅱが長年の技術を生かして作り上げた。加工しやすい紙の特徴を生かし、色鮮やかに表現した。

スタンド部分は、木工加工を手掛ける永井茂雄さん(69) Ⅱ同市葛城、定年後に陶芸教室を開いている大垣絵さん(68) Ⅱ日光市木和田島Ⅱが担当した。永井さんは手作りで温かみのある木製スタンドを制作、大垣さんは傘のデザインに合った陶器を作り上げた。



紙で制作したスタンドグラス風作品が並ぶギャラリー

スタンドの一部に、渡辺社長が金属で

制作した作品も展示。シルバー大学校でクラフトアートを指導する児玉さんは「ガラスの

スタンドグラスとは別ドアや間仕切り板も展示の魅力がある。今後は研究棟内で教室を開き、関心がある方と一緒に創作活動を楽しみたい」と意欲的だ。研究棟は約130平方メートル。室内には工場から出る廃材を利用した

問い合わせは児玉さん 090・8045・4990(携帯)。

示している。展示は毎月第2、第4の火、土、日曜日(午前9時~午後5時)。